

CMS構築等業務委託 仕様書

1. 目的

「大阪ヘルスケアパビリオン」が制作・運営するミライの大阪を舞台にしたバーチャル空間（「バーチャル大阪パビリオン」。以下同じ。）において、大阪の中小企業・スタートアップによる展示を行うにあたり、展示コンテンツ（画像、動画、テキスト）を表示するWebビュー画面を作成・管理するシステム（CMS）を構築等することで、バーチャル大阪パビリオンの効率的な運営を図る。

2. 業務の概要

（ア）業務名称

バーチャル大阪パビリオンCMS構築及び運用保守業務

（イ）業務内容

CMS構築及び運用保守

（ウ）契約期間

契約締結日から令和7年11月30日まで

なお、運用保守期間は構築後、令和6年12月1日から令和7年11月30日までとする。

3. 業務の内容

（ア）CMS構築業務

① 機能要件

本業務の遂行における基本要件は別紙「CMS機能要件一覧」のとおりとする。
なお、デザインやサイト構造等について、受注者はその専門的な立場や、これまでの構築経験から最適と判断したサイト設計を行うことを妨げるものではない。

② 非機能要件

i. サービスレベル

イ) 性能要件

・システム稼働率は、計画メンテナンスの時間帯等を除き、99%以上とすること。

・障害発生時でもサービス停止が極力生じないようにすること。

・バックアップを取得しておき、障害発生時には以下の要件を満たせること。

（ア） 確実かつ速やかにデータの復旧を行えるよう準備すること。

（イ） バックアップ取得時に、システムの機能に影響が出ないようにすること。

ロ) 運用性要件

- ・システムは、原則として24時間利用できること。
- ・月次処理、セキュリティ更新プログラムの適用等については、冗長構成により、無停止で行うこと。

ii. セキュリティ

- ・ IPA(独立行政法人情報処理推進機構)が提示する情報セキュリティガイドラインに沿った内容のシステムのセキュリティ対策および情報セキュリティ体制が組めること。
- ・ サーバ等の機器は、地震等の災害や火災等に対して十分な堅牢性を持つデータセンター等に設置すること。また、データセンター等への入退出管理が適正に実施されていること。クラウド仮想基盤を使用する場合は、他のクラウド利用者の仮想サーバ等(仮想化資源)と確実に分離し、アクセス制御を行うこと。
- ・ https(SSL/TLS)(TLS ver1.2以上)による通信の暗号化が行われていること。
- ・ OS、ミドルウェア、アプリケーション等のソフトウェアについては、脆弱性情報の収集を行うとともに、定期的に脆弱性検査を実施し、脆弱性が発見された場合は迅速にセキュリティパッチ適用等、必要な措置が講じられていること。
- ・ サーバ機器にはウイルス対策ソフトが導入されていること。
- ・ 適正なアクセス制御を行い設定されたページ以外にはアクセスできないようにすること。
- ・ 契約終了後は、本業務において知り得た内部情報(プラットフォーム事業者に関する情報含む)および個人情報等のデータを、サーバ等から完全に消去し、書面にて報告すること。

iii. システムの規模

- ・ 想定される最大のサーバ接続(100ユーザー程度を想定)に対して十分な負荷対応を構築することができ、その負荷試験を納品前に実施し、実施結果のエビデンスを提出することが可能であること。

iv. サポート

- ・ 出展企業へ説明等を行うに際しては、CMSの概要資料や各操作の説明資料を作成・提供するなど、必要な協力を行うこと。
- ・ システム運用開始後のサポートでは、オンラインチャットなどでのリアルタイムに近い対応の体制を構築できること。もしくは自動化に近いアフターフォロー対応ができる仕組みを用意できること。
- ・ ユーザーのアップロードコンテンツの多言語化(日英2言語)について、シ

システムだけでなく、人的フォローもできる体制を組めること。

- ・ ユーザーのバーチャルコンテンツの見せ方について、バーチャル大阪パビリオンの集客につながる提案を随時アフターフォローとしてできること。

v. その他

- ・ IPA(独立行政法人情報処理推進機構)の進める脆弱性検知ツールを用いて一定基準のシステムの脆弱性の検証およびその対応ができていることの担保ができること
- ・ メタバース技術やXR技術に関する開発・構築・運用実績があること。
- ・ メタバース動作環境では、特定のメタバースプラットフォームを使用するため、そのメタバースプラットフォームと接続するための機能実装ができること。
- ・ プラットフォーマー企業との実装検討の打ち合わせや折衝業務も対応できること。
- ・ CMSに不具合が発生した場合は、プラットフォーマー企業と連携し、即時対応することが可能な体制を構築できること。

(イ) CMS運用保守業務

① 運用保守の作業内容

- ・ サーバーへの不正アクセスの防止やアプリケーション・通信などの脆弱性対策のほか適切なセキュリティ対策を講じること。また、個人情報管理についてのポリシーを整備し、遵守すること。
- ・ 常時障害対応が可能な体制を整え、障害発生時には適切・迅速に対応するとともに、障害状況と対応等、障害に関する履歴の管理を行うこと。

② 受付時間及び方法

- ・ ユーザー及び管理者からのシステム画面を操作するための操作方法や障害対応などの問合せに対応すること。
- ・ 電話(平日 9:00～18:00)又は電子メール(24時間受付)等によるサポートを行うこと。緊急時の受付窓口は通常の受付窓口と異なっても構わないものとする。

4. スケジュール

(ア) CMS構築業務

契約締結日から令和6年11月30日まで

(イ) CMS運用保守業務

令和6年12月1日から令和7年11月30日まで

5. 成果品等の納入時期及び納品場所

本業務の成果物及び納入時期は、以下のとおりとする。

なお、成果物については、紙媒体1部及び電子データを納入すること。

成 果 物	内 容	納 入 時 期
①業務実施計画書	業務の実施体制・実施内容・スケジュール等を業務実施計画としてまとめたもの	契約日以降、速やかに
②設計書	CMSの設計を行った設計書	CMS公開開始日までに
③操作マニュアル及び運用マニュアル	システムの操作方法や運用方法をまとめたマニュアル	CMS公開開始日までに
④業務実施報告書	本業務の実施経過・実施結果やアクセス件数・ユーザー数等の実績をまとめた報告書	契約満了日までに

6. 著作権等に関する留意事項

受注者は、公開するCMSに使用するすべてのものについて、必ず著作権等の了承を得て利用するとともに、受託業務の実施において、原作者の著作権を不正に侵害することのないよう、厳に注意すること。

その他受託業務の実施に伴い適用を受ける法令、規程、基準等についてはこれを遵守すること。

7. 契約不適合等に関する責任の範囲

受注者は、公開するCMSに契約不適合が発見された場合には、速やかに発注者の指示に基づき、これを訂正・改修しなければならない。なお、これらに要する費用は受注者の負担とする。

公開するCMSが第三者の著作権等を侵害したことにより当該第三者から制作物の使用の差し止め又は損害賠償を求められた場合、受注者は発注者に生じた損害を賠償しなければならない。

8. その他

(ア) 業務実施体制

本業務を行うに当たっては、受注者は、パブリッククラウド環境でのサーバ構築、ソフトウェア、メタバース空間等に精通した者を従事させ、また、OS、ソフトウェアの製造者やパブリッククラウド環境の提供事業者やプラットフォーム企業から直接的な技術支援を受ける体制をとるなど、効率的な作業と設定等の最適化が可能な体制とすること。

(イ) 業務計画

受注者は、業務の開始にあたっては、本業務の実施における具体的な業務実施計画書を提出するとともに、適宜、更新状況を提出すること。本業務における契約締結後、速やかに着手し、業務実施計画書に従い完了させること。

(ウ) 本業務に係る発注者との打合せ

本業務の趣旨を熟知し、業務実施期間中においては、発注者と緊密に連絡をとりながら進め、その指示及び監督を受けなければならない。

なお、受注者は、業務着手時、成果品の取りまとめ時及びその他必要に応じて、発注者との打合せ及び協議を行うものとする。

(エ) 再委託について

業務の主要な部分や契約金額の相当部分を、他の法人等に再委託することは認められないが、専門性等から一部を受注者において実施することが困難な場合や、自ら実施するより高い効果が期待されるときは、発注者と協議し、承認を得ること。

(オ) 秘密の保持

受注者は、業務遂行上知り得た情報を他に漏らしてはならない。また、本業務の遂行にあたり収集した情報については、機密保持に努めるとともに、施錠の徹底や電子データのパスワード設定など、万全なセキュリティ対策を講じなければならない。

(カ) その他

業務実施期間中において、受注者が新たに企画提案し、その内容が業務目的の達成に資すると判断された場合には、発注者と調整を経たうえで、追加することができる。また、本仕様書に明記されていない事項については、別途協議するものとする。